

共創学会第9回年次大会 プログラム（2025年11月24日版）

1日目:2025年12月20日(土)		
12:00-12:50	受付・当日登録・クローク 受付 インタラクティブ発表掲示(A・B) 【鶴見大学記念館1階 大学食堂】	
12:50-13:00	開会の挨拶, 会長挨拶 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	
13:00-14:00	基調講演 「会議の最中におこっていること」 伊藤 亜紗（東京科学大学未来社会創成研究院／リベラルアーツ研究教育院教授） 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	
14:00-14:20	特別企画WS予告 「迷って・止まって・はみ出して」 特別企画WS実行委員 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	
14:20-14:40	休憩	
14:40-16:40	口頭発表A 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	口頭発表B 【鶴見大学記念館2階 第2講堂】
16:40-17:00	休憩	
17:00-18:00	インタラクティブ発表A 【大学記念館1階 大学食堂】	
18:00-18:30	移動	
18:30-20:00	懇親会 【蓬莱春飯店（ホウライシュンハンテン） 鶴見店】	

2日目:2025年12月21日(日)		
9:00-9:30	受付・当日登録・クローク受付 インタラクティブ発表掲示(初日に掲示できなかった方) 【大学記念館1階 大学食堂】	
9:30-10:30	インタラクティブ発表B 【鶴見大学記念館1階 大学食堂】	
10:45-11:45	特別企画WS 「迷って・止まって・はみ出して」 【鶴見大学記念館1階 大学食堂】	
11:45-12:00	休憩	
12:00-12:15	共創学会2025年度年次総会 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	
12:15-13:00	昼食(学内での飲食は, 大学食堂をご利用下さい)	
13:00-14:30	口頭発表C 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	口頭発表D 【鶴見大学記念館2階 第2講堂】
14:30-14:45	休憩	
14:45-16:15	口頭発表E 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	口頭発表F 【鶴見大学記念館2階 第2講堂】
16:15-16:30	振り返り・閉会の挨拶 【鶴見大学記念館2階 第1講堂】	

発表番号	セッション名	発表タイトル	第1著者 氏名	第1著者 所属
OR-01	口頭発表A	あなたなら、どうする？－困り果てた末に－	金尾 雄二	宗教法人日本同盟基督教団土浦めぐみ教会 児童福祉法指定事業所「からしだね」
OR-02	口頭発表A	対話型鑑賞を通した非専門家ファシリテータの変容－社会課題へのまなざし と社会教育的可能性－	渡邊 祐子	東洋英和女学院大学大学院
OR-03	口頭発表A	海洋生物とアートの交差点－環境と文化の交錯－	WU JINGTONG	早稲田大学
OR-04	口頭発表A	翻訳者の役割から捉える地域共創のプロセス－システムミックデザインによる 事例分析と実践	森本 高志	パナソニック ホールディングス株式会社
OR-05	口頭発表B	赤ちゃん観察会－「最中」にある共創の場	西尾 千尋	甲南大学
OR-06	口頭発表B	アートコミュニケーション・プロジェクトへの参加を通した学びの実践共同体の 解明	三原 凜子	お茶の水女子大学大学院
OR-07	口頭発表B	異分野の教員間の研究を介したインタラクションの最中で	深田 智	京都工芸繊維大学
OR-08	口頭発表B	生活世界の断片から未来を構想する『考古-現象学的デザインリサーチの実 践』－北海道むかわ町におけるランプリングデザイン運動－	山本 晴日	札幌市立大学
OR-09	口頭発表C	人びとの自然な語りをひき出す記録技法キャラティブの実践－容姿を描かな いキャラづくりがもたらす個別具体的物語りの可能性	佐藤 優記代	札幌市立大学大学院
OR-10	口頭発表C	乳児と光の沈黙の対話－アガンベンのinfanziaと非言語的实践	岡南 愛梨	埼玉学園大学
OR-11	口頭発表C	「場」が「居心地のいい居場所」になるということ	宮里 暁美	お茶の水女子大学
OR-12	口頭発表D	子どもがひらく保育の場－「ここ」と「そこ」のかたち	山崎 寛恵	東京学芸大学
OR-13	口頭発表D	みんなで未来の都市をつくる手がかり－パターン・ランゲージを活用した未来 社会像の共創	沖田 英樹	日立製作所
OR-14	口頭発表D	変わり続ける「今、ここ」を表現することで生まれる実感－個人及び集団でのコ ラージュ作品制作実践を経て－	田仲 麻友	札幌市立大学
OR-15	口頭発表E	「場を読む」わざの探究－場づくりの実践者が有する暗黙知への質的研究ア プローチ－	伊藤 加奈子	社会構想大学院大学 株式会社共創アカデミー
OR-16	口頭発表E	既存構造物を用いた壁型日時計《Sun of the City》の制作と分析	山田 悠	アーティスト
OR-17	口頭発表E	自分ごとが生まれる過程としてのふりかえり活動の成り立ち－大学でのデザ イン実践を事例に	浪川 早咲	千葉工業大学大学院
OR-18	口頭発表F	授業「保育デザイン論」を企てた保育研究者とデザイナーの共創によるデザイ ン道中	刑部 育子	お茶の水女子大学
OR-19	口頭発表F	民間信仰を分解することから生まれる縁づくりの可能性－及川家で信仰され る三郎稲荷神社での実践を通じて－	伊藤 悠貴	札幌市立大学
OR-20	口頭発表F	まだ出会っていない人に、共創表現ののほらを届ける I－くのはらミライinあ つぎプロジェクトはどのように始まったのか－	水村 麻理恵	NPO法人みんなのダンスフィールド

発表番号	セッション名	発表タイトル	第1著者 氏名	第1著者 所属
IN-01	インタラクティブA	「カウンター・commons」の設計原理 ― 本音Barにおける語りが社会実装を促すメカニズム ―	尾形 慎哉	株式会社グラグリッド
IN-02	インタラクティブA	模倣的インクルーシブ体験を通じた音楽接触の観察-模倣ワークショップによる試行的分析	周 子哲	札幌市立大学
IN-03	インタラクティブA	DJイベントにおける共創の可視化	大内 悠生	筑波大学
IN-04	インタラクティブA	感覚を拓く表現の授業に関する一考察 ―素材とのかかわりに着目して―	小井塚 ななえ	東洋英和女学院大学
IN-05	インタラクティブA	金属材料との感応 ―環境応答型形状記憶合金を用いたポスト質的研究―	口 テンセキ	武蔵野美術大学
IN-06	インタラクティブA	共創の7段階プロセスによるJICA事例の分析 - 共創の失敗から学ぶ -	磯野 皓一	国際協力機構
IN-07	インタラクティブA	「支援する―される」を超える支援関係の共創的デザイン- いしやま朝市「しる」として」と未来語りダイアログの実践から-	石橋 佐枝子	札幌市立大学
IN-08	インタラクティブA	感覚と身体 つながりの最中（さなか）- 学生インタビューからSCATによる分析 -	浅井 忍	草苑保育専門学校
IN-09	インタラクティブA	変容し続ける最中から生まれることとは ―共創的な身体表現ワークショップの継続を通して―	秋田 有希湖	鶴見大学短期大学部
IN-10	インタラクティブA	遊びから遊びへ - 共に創りつづける楽しさの探究 -	河田 聖良	日本体育大学
IN-11	インタラクティブA	高校生によるSNSの“使い分け”から見るソーシャルメディア・リテラシー	大澤 康太郎	名古屋大学大学院
IN-12	インタラクティブB	和綿で「何か」をつくるワークショップ	二宮 咲子	関東学院大学
IN-13	インタラクティブB	交通安全を共創するソーシャルデバイスの研究	西本 紗貴	筑波大学
IN-14	インタラクティブB	保育場面でみられたリズムを介した相互作用成立の様相と リズム同期・相互予測性の意義	田坂 裕子	鶴見大学短期大学部
IN-15	インタラクティブB	箱庭療法の「最中(さなか)」を捉える視線計測―模倣的箱庭制作における探索的検討	石原 宏	島根大学学術研究院
IN-16	インタラクティブB	オンライン授業による共創ナッジー授業形態による共創的学習の比較	佐々木 美加	明治大学
IN-17	インタラクティブB	子どものひらめきにみる「天然知能」の肯定的/否定的アンチノミー共立	杉山 沙旺美	お茶の水女子大学大学院 聖隷クリストファー大学
IN-18	インタラクティブB	秩序的解釈によって視覚化された味覚の多元性 ― テイスティング・スケッチの描画分析	福田 大年	札幌市立大学
IN-19	インタラクティブB	暮らしの中の環世界の循環によるコミュニティのレジリエンス―タイ北部の農村の「最中」	宮田 義郎	中京大学
IN-20	インタラクティブB	変化し、つながるこどもの姿―幼稚園5歳児クラスの遊びの展開と考察	甲斐 愛美菜	鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園
IN-21	インタラクティブB	人工生命ラボに関する自伝的小説を通じた共創的エスノグラフィー	池原 優斗	北海道大学
IN-22	インタラクティブB	関係の網の目の「最中」で生きる子ども - 自由保育の事例検討 -	西山 萌	國學院大學
IN-23	インタラクティブB	小さな出会いが大きな学びに ―幼稚園インターンシップが育む“学びの気づき”―	平澤 佐友里	簡野学園 羽田幼児教育専門学校